



常に正しい決断をする方法

例えば、夢を見ている最中に、

「そうか、これは夢なんだ！」

と気づいたことはありますか？

夢の中で夢だと気付く。最高じゃないですか？夢だけど、夢だから・・・なんでもできる。限られた時間だけれど、何をしても許される。うわあ、なにしよう！

あなただったら、何をします？

・・・という話ではなく（最後に繋がります）、今回は、という話をしたいと思っています。この話を聞いておけば、あなたができる限りの、あなたの能力MAXの、最高の決断や行動を常に取りることができ、最高の結果を手に入れることができるようになります。

逆にこれを知らないと、失敗だらけの人生になって生きるのが辛くなったり、やる気を出すのがバカバカしくなったりしますので、注意深く読んでほしいと思います。

それです、

物事には必ずポジティブな側面とネガティブな側面がある

ということ覚えてください。

たとえば、僕の友人で、起業するための勉強をもうかれこれ5年くらいしている人がいますが、彼は勉強するだけでちっとも行動しようとしません。要するに、なんだかんだ怖がっているのです。傍から見たらネガティブに

見えます。

しかし、別の見方をすると、とても慎重で人生で怪我をしにくいという側面を持っている事がわかります。また、人に迷惑をかけにくいという側面も見えてきます。本当は起業家には向いていないかもしれない。今はそれを理解するための期間だと捉えることもできます。

もう一つ例を出すと、僕の知っている男にドタキャン癖や虚言癖のある奴がいるのですが、僕の知る限り彼は人からの信頼がありません。いつも人を振り回すので、友達があまりいません。人からの評価や人の気持ちがわからないタイプの人間なのです。

でも、彼には悪気が一切ありません。もちろん、ドタキャンや嘘はいいことではないですが、彼自身、悪気がまったくくないのです。

彼は、自由奔放に生きていて、即興の音楽を不特定多数の人に提供する仕事で生計を立てています。自分の気の向くまま、思うままに生きることによって彼の感性が磨かれているのです。その結果、たくさんの人に音楽という形で感動や喜びなどの価値を与えているのです。

もし彼がガチガチの常識人だったら、彼は音楽を生み出せないだろうし、彼の作品によって感じる事ができたであろう喜びや感動を味わえない人が出てきます。そう考えたとき、彼にはネガティブな側面もあれば、ポジティブな側面もあるのだということがわかります。

そういう、

真ん中のポジション（ニュートラルな場所）から、両側を客観的にみることで、ぼんやりと見えてくる本質

があります。

人はみな、独自の現実の中で生きています。自分が見たいものや信じているものしか見ようとしないうし、そもそも見えないのです。怖がっていつまでも行動できない友人は、行動するのが怖いという現実の中で生きています。ドタキャン虚言癖のある彼にとって、人の気持ちや評価よりも、自分の思うままに生きる事が重要だという現実で生きています。

あなたが見ている現実と、あなたの友達が見ている現実は、 違う

のです。

違う事が問題なのではなくて、違う事に気づいていないのが問題なのです。

どちらか両極端からしか物事や状況を見れていない

ということが問題なのです。

この問題が色んな摩擦を生み、色んな悪条件が重なり、対人トラブルに発展するのです。

物事にはポジティブな側面とネガティブな側面がある

これをいつも忘れてはいけないと思います。中間に立って、ニュートラルな状態であることで、冷静に物事をみることができます。そうやってはじめてみえる本質や真実があります。「俺は、俺が見たい現実しか見えていないんだ」「自分の殻の中だけで生きているんだ」まずは、こういうことに

「気付く」というプロセスが大事

だと思います。

それはまるで、夢の中で「これは夢なんだ」と気付く感覚によく似ているかもしれません。でも、夢の中で夢だと気づくよりはずっと簡単なような気がします。僕はこれまでの人生で、夢の中で夢だと気づけたのは2～3回しか記憶にありません。

でも、「ああ、俺は今、両極端からしか物事を見れていない」と意識的に気づけた回数は数え切れないほどです。

なぜそれに気づけるのかというと、そういう事を知識として学んだからです。そしてそういう癖をつける努力をしたからです。その結果、だいぶ物事を冷静に、客観的に見ることができるようになりました。

そして、そういう状態の時は常に、

最高の決断、最高の行動、最高のコミュニケーション

が生まれます。

その結果、理想的なライフスタイルに近づく事ができています。物事のいい面しか見えていないときや悪い面しか見えていないとき、つまり両極端な思考に支配されているとき。また、必要以上の恐怖の感情に支配されているとき。

こんな時、人は

かなり癖のある厄介な色眼鏡をかけている状態

なのです。

そんな状態で正しい思考や決断や行動は絶対に生まれません。絶対に良い人間関係など築けません。客観的に物事が見えていない時にする選択や決断ほど危なっかしいものはないのです。ろくな事が起こりません。何かに失敗するときは大抵、こういう色眼鏡をかけた時にした決断や行動やコミュニケーションが原因になっています。

まずは、素直にならなければいけない。自分が見えている現実には真実ではない、ということを知り、自覚しなければいけない。物事は常に変化しているのだと言う事を理解しないと行けない。自分自身の考え方も、環境も、状況も刻一刻と変化し続けているのだ、と。

自身の考えを曲げることはまったく恥ずかしい事ではない

のです。

むしろ前向きな姿勢で、積極的に変化させていこうとする態度がとても大事です。変化させるべき考えや信念に固執することで、結果的に恥ずかしい思いをしてしまうのです。

「俺は今、厄介な色眼鏡をかけているかもしれない」という事に気づいたら、とりあえず、すべての決断や行動やコミュニケーションを控えて、以下の3ステップを行ってください。

ステップ1：

良質な水をゆっくり味わうように飲んでください。

ステップ2：

次に、運動をしてください。有酸素運動と筋トレ両方できれば最高です。へ

トへとになる必要はありませんが、「いい汗かいたな」程度の運動を行う事をお勧めします。

ステップ3 :

そして、自分のモチベーションを上げてくれるような人や本やDVDに触れてみましょう。モチベーションが上がる写真でもいいですし、癒し系の音楽とかもいいですね。

...

以上、簡単な事ですが、「あ、俺ちょっと怪しいな」と思った時にこれだけの行動をすれば、大抵の色眼鏡は外れます。

その状態で、何かを決断したり行動したり人とコミュニケーションをとったりしてください。きっと、あなたが達成し得る最高の結果を手に入れる事ができると思いますよ。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

Arigato! ★ Aun

★このレポートを読まれたあなたにお勧めの製品



THE DIVE—大きな挑戦をクリアする方法—

- ・勉強ばかりで行動が追いつかない
- ・行動しているつもりだがちっとも現実が変わらない
- ・現実を変える程の大きな行動ができない

……つまり「挑戦」が出来ないのであれば、これは必見です。結局のところ、勇気をだし思い切ってダイブ（挑戦）しない限り、現実は絶対に変わりません。

▶ [製品の詳細はこちら](#)